

広 報 たまぐり

(毎月1回発行) 発行人町長 坂本常蔵 昭和38年 1月23日 第三種郵便物認可 印刷所 さんゆう社印刷 定価10円

人口と世帯数

50年12月1日現在
 (単位・戸、人)
 総人口 13,834人
 男 6,834人
 女 7,000人
 世帯数 3,089戸

優勝

根古屋チーム (ポンプ自動車の部)

西谷チーム (可搬式ポンプの部)

消防団

秋季点検
 ならびに操法
 訓練大会



十一月十九日、玉造中学校グラウンドで、消防団の秋季点検ならびに操法訓練大会が開かれました。日頃鍛えた技を競うこの大会、ポンプ自動車の部には、七チーム、可搬式(持ち運び)ポンプの部には、二十二チームが、それぞれ参加しました。審査には、鹿行広域消防本部があたりまを競うこの大会、優勝は、ポンプ自動車の部で、根古屋チ

ーム、可搬式ポンプの部で、西谷チームと決定しました。成績は次のとおりです。

(四百点満点)

◎ポンプ自動車の部

一位、三百四十点 第一分

団第二部(根古屋チーム)

二位、三百八十八点 第二分団

第三部(手賀宿チーム)

三位、三百四十八点 第三

分団第三部(上宿チーム)

◎可搬式ポンプの部

一位、三百六十二点、五

分団第三部(西谷チ

ーム)

二位、三百五十四点 第三

分団第二部(賀茂チーム)

三位、三百四十八点、五

分団第四部(西蓮寺

チーム)

四位、三百三十六点、第三

分団第一部(里、内宿チ

ーム)

五位、三百三十二点 第三

分団第七部(泉チーム)

なお、優勝した根古屋チ

ーム、西谷チームは、十二月十

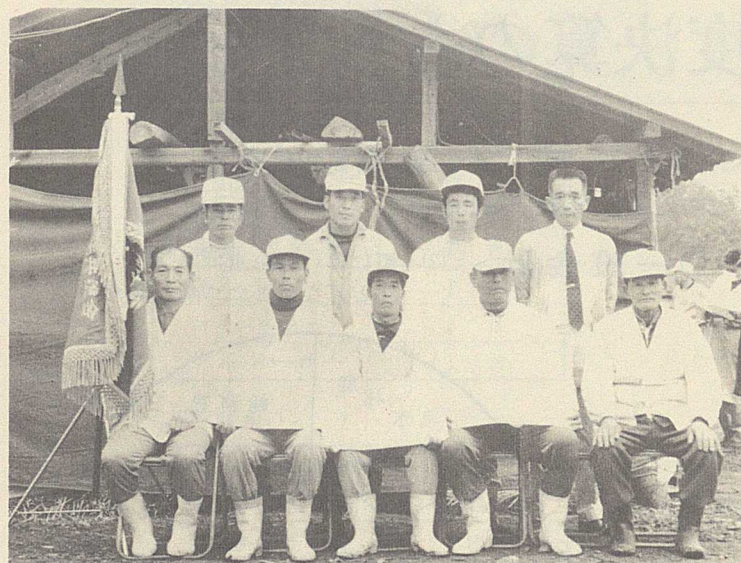
九日、麻生町で開かれる県大

会に出場します。

健闘を祈ります。

▲ がんばる

荒宿チーム



▲ 優勝した
自立農家組合肥育牛班の皆さん

モーちゃん 各地で大奮戦 熊谷さん 肉牛共進会

農林大臣賞を獲得
— 第十九回県内牛共進会 —



十一月十二、十三、十四日の三日間、石岡家畜市場で、肉牛の県チャンピオンを決める第十九回県内牛共進会が開かれました。
玉造町からも、自立農家組合肥育牛班が参加、十頭を出品し、新宿の熊谷武平さんが農林大臣賞を獲得するなど、すばらしい成績をおさめました。

成績次のとおり。

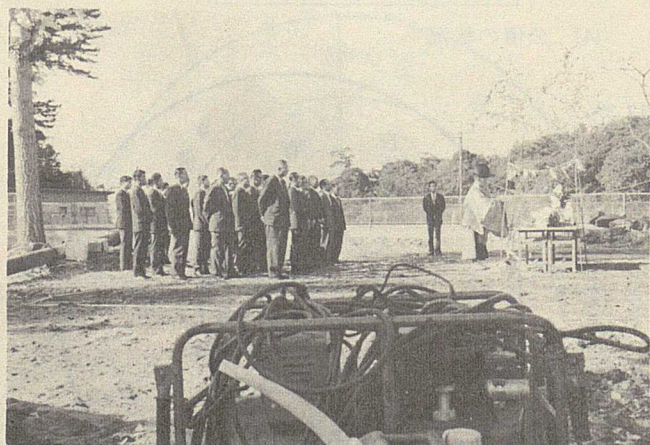
- ◎ 名誉賞（農林大臣賞）
熊谷武平（新宿）
- ◎ 優等賞（知事賞）
郡司正男（新宿）
- ◎ 優等賞（農林部長賞）
青木一雄（新宿）
- ◎ 優等賞
菅谷 林（新宿）
- ◎ 一等賞
宮川順一（新宿）
村松重信（新宿）
野原一男（新田）
- ◎ 二等賞
田中政行（西蓮寺）
根本孝一（西蓮寺）
青木一雄（新宿）

なお、肥育牛班は、団体で総合優勝しました。

関東地区共進会でも健闘

十二月二、三、四日の三日間、埼玉県深谷市で行なわれた関東地区肉牛共進会に、郡司正男さん（新宿）、青木一雄さん（新宿）の両名が参加、郡司さんが優等賞、青木さんが一等賞にはいるなど、健闘しました。

玉川幼稚園新築工事 起工式をおこなう



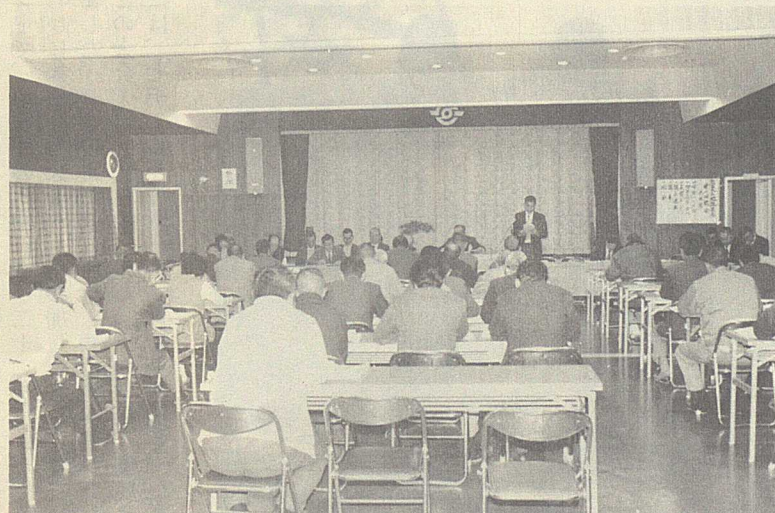
▲ 起工式のもよう
玉川幼稚園新築工事の起工式が、十一月十二日、おこなわれました。工事費は、二千八百六十万円、五十二年三月三十一日完成の予定です。この工事により、玉川幼稚園は、鉄筋コンクリート一階建のデラックスな園舎となります。

「事故を呼ぶ
酒は飲むまい
飲ますまい」
年末年始の
飲酒運転を
なくしましょう。

農業の近代化 機械力の導入 をめざして



▲ 現地での起工式



▲ 総会会場から

鳥名木土地改良区成立 — 構造改善事業始まる —

鳥名木谷（やつ）を、機械 た田畑に……。茨城県認定第四百二十七号

鳥名木土地改良区が、十一月十九日、第一回総会開催を機に成立、構造改善事業をすすめていくことになりました。組織は、理事長、大場正維さん、副理事長、磯山忠相さん、ほか理事十三名、監事三名という構成です。

今回の事業は、正式には、第二次農業構造改善事業と呼ばれ、基盤整備事業、近代化施設設置事業の二本立となっています。

基盤整備事業とは、簡単に言えば、区画整理事業。

鳥名木谷の田畑四十五ヘクタールを、平均三〇アール（三反歩）に区画整理します。ほかに、水の心配をなくするために、用水をパイプライン化します。

近代化施設設置事業としては、甘藷催芽育苗施設（キャリング倉庫）を作ります。

これは、作物の発芽を早めたり、おさえたりして、作物を計画的に出荷するための施設です。これにより、生産過剰による値ぐれを防ぐことができます。

区画整理事業は、十二月六日、近代化施設設備事業は、十二月九日に、それぞれ起工式を挙行、本格的な工事に入りました。

(5) 機械器具および基本財産

機械器具

乗 用 車	1 台
ラ イ ト バ ン	5 台
貨物自動車(中)	1 台
貨物自動車(小)	2 台
消 防 自 動 車	7 台
グ レ ー ダ ー	1 台
ショベルローダ	1 台
ブルドーザー	1 台

基本財産

財政調整基金	
基 本 財 産	551千円
基 本 育 英	16千円
有 価 証 券	870千円
出資による権利	5,375千円
債 券	450千円
合 計	86,149千円

(6) 町有財産の現況

土 地 (㎡)

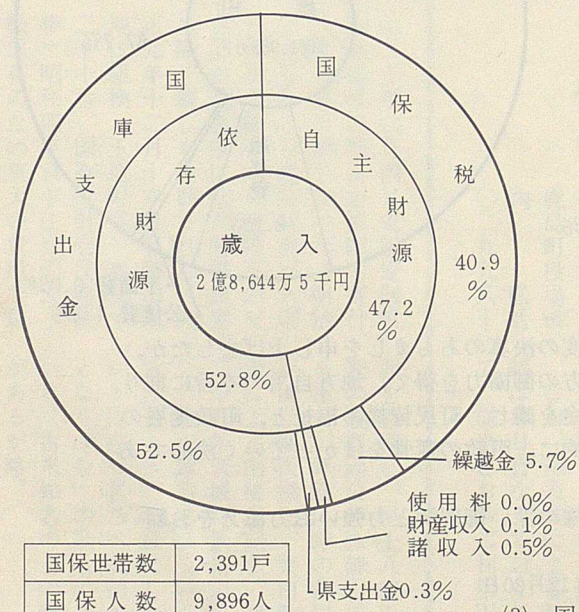
役 場 敷 地	6.797
消 防 施 設	1.729
学 校	115.148
幼 稚 園	6.646
公 営 住 宅	6.376
公 民 館	2.582
旧 中 学 校	10.159
そ の 他 施 設	24.756
山 林	10.850
原 野	22.016
そ の 他	43.068
合 計	250.129

建 物 (㎡)

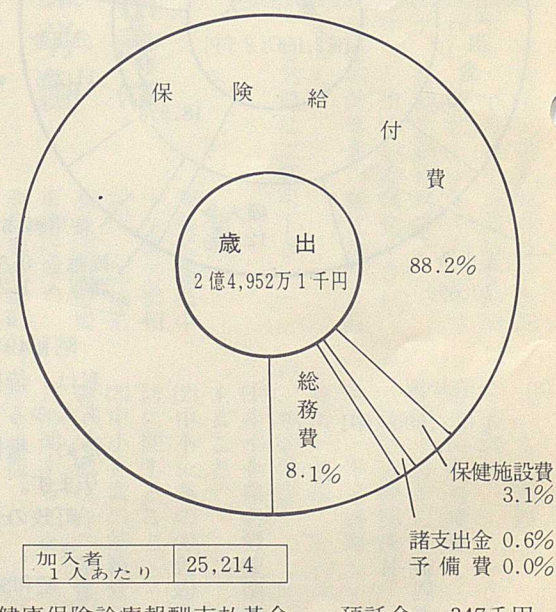
役 場	1.601
消 防 施 設	449
学 校	19.750
幼 稚 園	672
公 営 住 宅	595
公 民 館	1.966
そ の 他	3.375
合 計	28.640

②国民健康保険特別会計

(1) 私たちの国保は
どんな財源で成り立っているか



(2) 国保の歳出は
どんなことに支払れたか



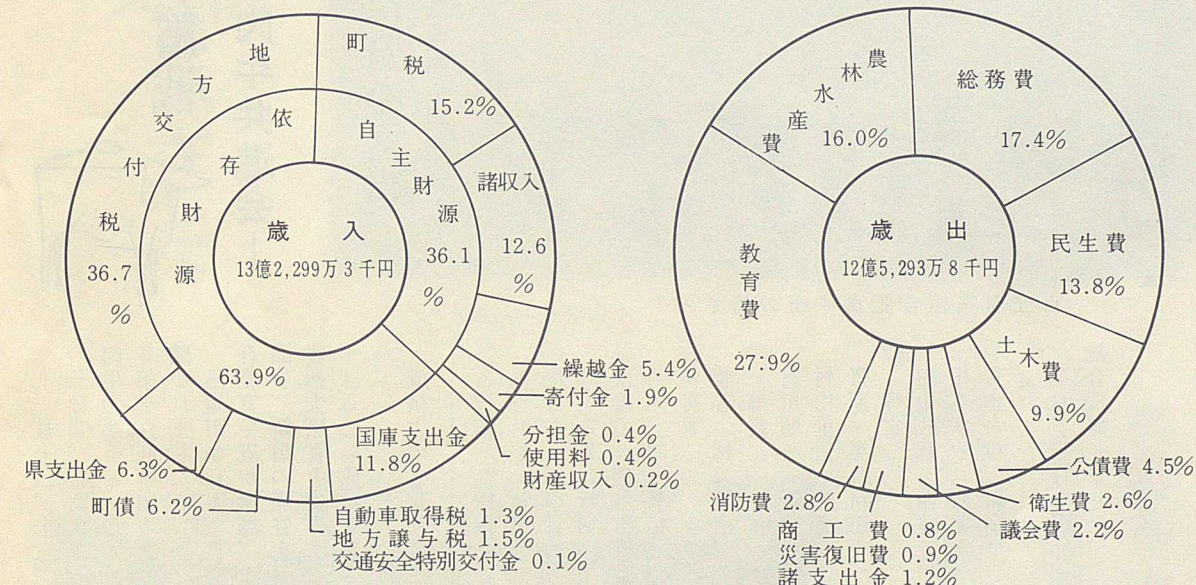
(3) 国民健康保険診療報酬支払基金 預託金 347千円
(4) 財政調整支払準備基金 5,287千円

昭和49年度決算のあらまし

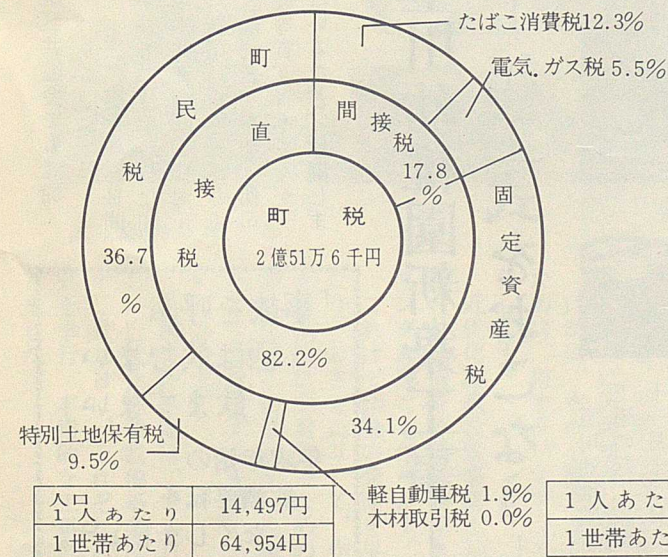
地方自治法第233条第5項の規定に基づき、昭和49年度
決算のあらましを次のとおり公表いたします。

(1) 私たちの町は
どんな財源で成り立っているか

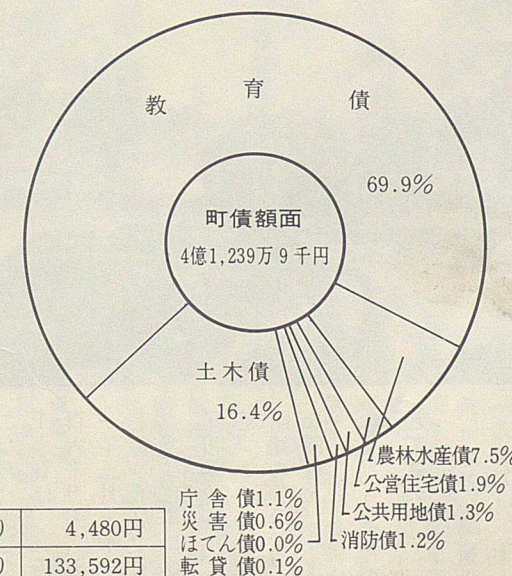
①一般会計 (2) 町にはいった金は
どんなことにつかわれたか



(3) 私たちは
町にどのような町税を納めたか



(4) 公債の状況



自動車安全 運転センターが 開設されます

昭和五十一年一月一日から自動車安全運転センター茨城県事務所が開設され、次の業務を始めます。

◎交通事故証明書の発行

交通事故証明書は、現在、警察署で発行していますが、一月一日からは、県外で起こした交通事故についてまでもセンターの茨城県事務所で証明書を発行します。

証明書の必要な方は、申請書（郵便振替用紙に印刷したもの）に手数料を添えて、最寄りの郵便局から申し込んで下さい。証明書は、郵便でお届けします。申請書は、警察署、派出所、駐在所等にありません。

センター窓口で直接申し込んだ方には、その場でお渡し

します。

◎運転経歴証明書の発行

自分の運転経歴について、無事故・無違反の証明の必要な方や、交通違反の現在の点数を知りたい方などに、本人の申請により証明書を発行します。

申し込みの方法は、交通事故証明書の場合と同様です。申請書は、警察署、派出所及び駐在所にあります。

◎免許停止直前の点数通知

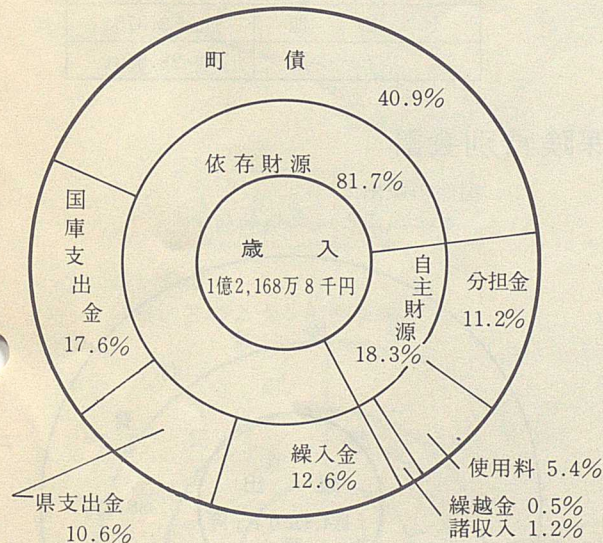
交通違反などの点数が、運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった方に、センター事務所から郵便でお知らせします。通知を受けた運転者の方は、特に安全運転に心掛けてください。

○センターの茨城県事務所は一月一日から、水戸市三の丸一丁目五番三十八号、茨城県警察本部内に開設されます。○詳しいことは、茨城県警察本部交通部企画課（水戸二四―二二一、内線五二七六、五二七七）、または、最寄りの警察署交通課、派出所駐在所でおたずね下さい。

③水道特別会計

(1) 水道事業は

どんな財源から成り立っているか

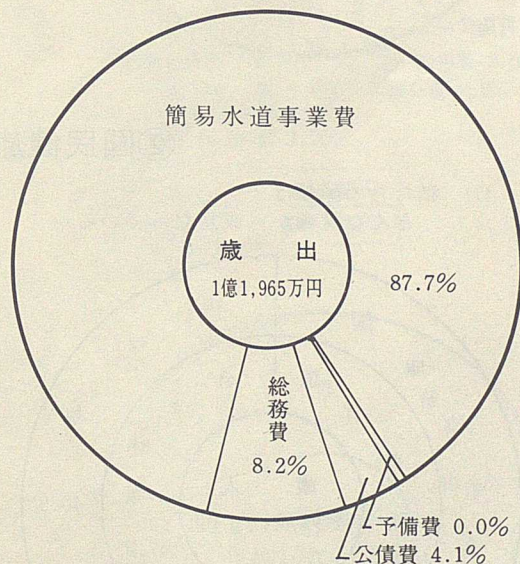


(3) 公債状況

1億2,890万円

(2) 水道事業の歳出は

どんなところに支払れたか



昭和49年度の決算のあらましを申し上げましたが、私は、皆様方の御協力を得て、地方自治の本旨に則り、あらゆる方途を講じ、町民皆様の福祉と、町政発展のため、積極的に、町政の運営をはかっていく決心であります。

町政の皆様の深い御理解と力強いお力添えをお願いします。

昭和50年12月20日

玉造町長 坂本常蔵

生徒募集のお知らせ

―土浦職業訓練校―

最近における経済変動により、学校卒業生および一般労働者の中には、技術を身につけて有利に就職しようとする者が大勢多くなりました。当校では、このような方々に、一年間の技能訓練を行ない、立派に社会に送り出しています。

一、募集定員

◎高等訓練（高卒者以上）

電気工学科 三十名

電子工学科 二十名

◎専修訓練（中卒者以上）

機械科 四十名

テレビ技術科 二十名

（外に一般十名）

洋裁科 二十名

（外に一般十名）

自動車整備科 四十名

二、入校手続

入校願書を当校または、安定所へ提出して下さい。

三、受付、選考

高等訓練は三月三十一日まで

で随時選考（面接、身体検査）

専修訓練は三月十日まで受

付、三月十二日選考を行ない

ます（数学、国語、面接、身

体検査）、合格発表三月十九日

四、入校は四月十日の予定で

すが、毎月若干の費用で訓練

が受けられ、そのほか、いろいろの特典が与えられます。詳細は、当校、職業安定所にお問い合わせ下さい。

土浦市大字中村西根五十
茨城県立土浦高等職業
訓練校

労働問題のご相談は 鹿島中小企業労働 相談所へどうぞ

鹿島商工労働事務所に併設されている中小企業労働相談所に、昭和五十年十月一日付で、民間労働相談員として、佐川一信氏が委嘱発令され、労働相談事業の強化がなされました。

お気軽にご利用下さい。

一、場所

茨城県鹿島中

小企業労働相

談所（茨城県

鹿島商工労働

事務所内）

鹿島郡鹿島町

平井一八七

鹿島町役場構

内 電話

〇二九九八―

二、相談日

毎月第四火曜日

午前十時から午後四時まで

三、民間労働相談員

茨大・早大講師

佐川一信氏

四、相談内容

(1) 中小企業の労使関係に關

すること

(2) 中小企業の労使紛争の予

防に關すること

(3) 中小企業の学務管理の改

善、労働組合の運営等の助

言に關すること

(4) その他

なお、担当者による労働相談は毎日行なっておりますので、従来どおりご利用下さい。

文化財をたずねて

高須の一本松

―(4)―

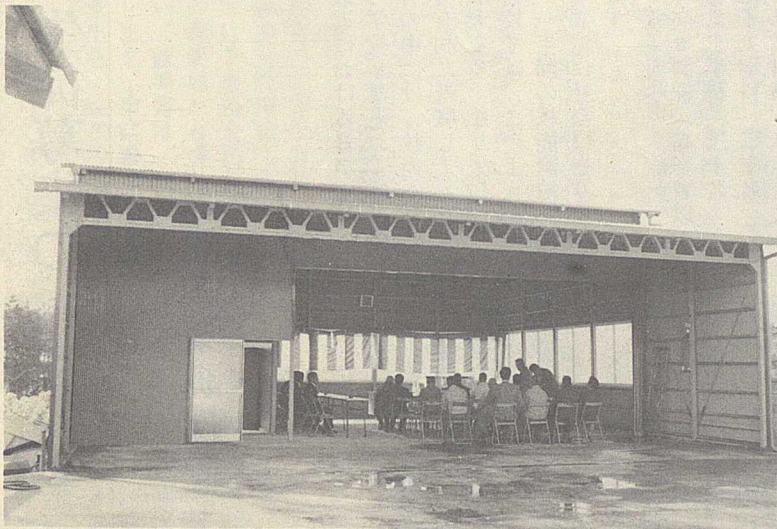
烈公は其の節、手入れ金参拾両を下賜されたので、当町大場惣介が庭師を雇い手入れし、二年後天保七年手入れ金の中から碑石を買った。慶応三年白井喜三改修した。昭和四年宮本庄次郎氏、水戸国難のため廃絶した。明

治二十年六月四日安田定則県知事巡視の際資金拾四円寄付され周囲に柵を作った。明治三十七年（日露開戦前）久邇宮邦彦王殿下（皇后陛下の父君）が百里原に砲兵射撃演習の際、親しく愛観された。大正元年十二月十六日名勝旧蹟地に組換（玉造町字一本松甲）二十番、国有原野彦反彦畝（歩）昭和四年宮本庄次郎氏、松保存のため莫大の費用で周

中山地区に

共同集荷所が完成

中山地区に、写真の様な立派な集荷所が出来、完成を祝いました。
これは、地区の皆さんが、力をあわせてつくった施設です。
集荷所の完成で、野菜などを共同で出荷できることになった農家の皆さんは、大喜びです。



▲ 完成した集荷所

凍結防止へのおねがい 玉造町水道事業水道係

寒さが増してまいりますと、水道管が凍結のため破損する場合があります。そのために、各御家庭の水道管には凍結の防護がなされていると思います。
露出している管、または上りの管には防護が必要です。危険と思われる場所には必ず防護をして下さい。自分で行えない場合は工事店に連絡すると行なってくれます。
もう一つは、毎月検針をするメーター器が凍結して破損する場合がありますので、ボロ布等をかぶせて防護して下さい。
メーターボックスのフタを

寒さが増してまいりますと、水道管が凍結のため破損する場合があります。そのために、各御家庭の水道管には凍結の防護がなされていると思います。
露出している管、または上りの管には防護が必要です。危険と思われる場所には必ず防護をして下さい。自分で行えない場合は工事店に連絡すると行なってくれます。
もう一つは、毎月検針をするメーター器が凍結して破損する場合がありますので、ボロ布等をかぶせて防護して下さい。
メーターボックスのフタを

年末年始のごみ

- ◎ごみ捨て場
十二月三十一日から
一月六日まで
- ◎ごみ収集は
十二月三十日から
一月五日まで
休みます

あけるとメーター器があります。すので、直接メーター器にかぶせてください。
毎日御使用になっている水道ですの凍結のため不便を来たさぬよう御協力ねがいま

誕生おめでとう
いざいざいざ



出産

＜10月＞

おみやぎ
申しあげます

死亡

＜10月＞

清 水 泰之助
理 崎 かおり
高 田 きく
磯 山 佐平次
斎 藤 い
塙 弘

年令
八七
七三
七二
七四
八四
四四

部 落
上 山
新 田
浜 田
舟 津
西 谷
緑ヶ丘

赤ちゃん
新 堀 二 郎
芳 野 浩 美
大 河 幸 広
飯 島 幸 子
石 田 美 由 紀
栗 山 美 貴
舟 串 則 子
吉 田 裕 一
樽 見 陽 子
小 松 崎 勲
井 野 朋 美
小 島 朋 美
堀 江 勝 美

続柄
二男
長女
二男
二女
長女
長女
二女
二女
長男
長女
二女
長男
長女
長女
長女
長男
長女
長女
長男

保護者
保 護 者
榮 博
幸 巳
正 夫
幸 夫
正 男
清 文
英 雄
一 男
孝 男
昇 男
芳 昭
和 徳
晴 男

部 落
横 須 賀
加 茂
舟 津
新 田
中 山
高 須
上 宿
若 海
八 木 蔭
沖 洲
柄 貝
藤 井